

第133回

触媒学会主催

触媒討論会 特別シンポジウム

Catalysis Society of Japan

2024.3.19 Tue
14:30 - 17:40

触媒学会では、第115回触媒討論会より毎年継続して参りました特別シンポジウムを、第133回触媒討論会にて開催します。注目度の高いテーマや他分野との境界領域のテーマを選定し、この分野でご活躍されている産学官の第一人者の方々に講演をお願いしています。

今回は「**カーボンニュートラルに向けた電解技術の最前線**」および「**触媒開発におけるDX**」の二つのテーマについて特別シンポジウムを開催します。

本企画が、各界の研究者の交流を一層促進し革新的な成果を生み出す"触媒"となるよう、積極的なご参加をお願いします。

主催 触媒学会

開催方式 オンサイト開催(オンライン配信はありません。)

会場 横浜国立大学常盤台キャンパス
第133回触媒討論会会場

テーマ1 (A会場)

「カーボンニュートラルに向けた電解技術の最前線」

オーガナイザー: 山中 一郎 (東京工業大)

14:30	テーマ趣旨説明	岩崎 正興 (豊田中央研究所)
14:35	作用機構を意識した新電極触媒開発	山中 一郎 (東京工業大)
15:05	CO ₂ 電解を基軸とするマルチカーボン化合物の生成	中西 周次 (大阪大)
15:35	様々なイオンが存在する水の利用を志向した電解反応とシステム構築	高鍋 和広 (東京大)
16:05	休憩	
16:15	P2Cを実現するためのCO ₂ 電解技術	水口 浩司 (東芝エネルギーシステムズ)
16:45	有機ハイドライド電解合成を利用した日豪グリーン水素サプライチェーン実証	松岡 孝司 (ENEOS)
17:15	パネルディスカッション	オーガナイザー、講師
17:35	閉会の挨拶	山中 一郎 (東京工業大)

テーマ2 (B会場)

「触媒開発におけるDX」

オーガナイザー: 一杉 太郎 (東京大)

14:30	テーマ趣旨説明	清水 史彦 (三菱ケミカル)
14:35	ラボDXによる材料研究開発の革新	一杉 太郎 (東京大)
15:05	ハイスループット実験と触媒インフォマティクスが実現する仮説から脱却した触媒設計	高橋 啓介 (北海道大)
15:35	分子場解析に基づくデータ駆動型不斉触媒設計	山口 滋 (理化学研究所)
16:05	休憩	
16:15	基盤モデルは触媒開発をどのように変えるか	澤田 亮人 (Preferred Networks)
16:45	量子コンピュータの現在と未来	松下 雄一郎 (東京工業大)
17:15	パネルディスカッション	オーガナイザー、講師
17:35	閉会の挨拶	一杉 太郎 (東京大)



詳しくはWEBサイトを
御覧ください

触媒学会



<https://catsj.jp/>

